



ESCO News Letter

第2巻 第19号

発行日 2013年10月30日

鳥インフルエンザについて

鳥インフルエンザとは？

鳥類に対して感染性を示すA型インフルエンザウイルスによる感染をいい、自然界ではカモ、アヒル等の水鳥を中心に多くの鳥類がこのウイルスを保有しています。

2006年には我が国の養鶏場において、家さんへの高病原性鳥インフルエンザA(H5N1)の発生が数例あり、本病のまん延防止のため鶏舎の消毒、飼養鶏全羽の殺処分等がなされました。

なお、鳥インフルエンザウイルスがヒトやその他の動物に感染した場合でも、鳥インフルエンザという感染症名を使用します。

ヒトへの感染

通常、ヒトに感染することはありませんが、感染した鳥に触れる等濃厚接触

をした場合など、まれにヒトに感染することがあります。

本年(2013年)3月以降の中国及び台湾における鳥インフルエンザA(H7N9)に感染した患者の発生[2013年8月11日付WHO公表:感染患者135人(うち44人死亡)]や、2003年以降には東南アジアを中心に多数の鳥インフルエンザA(H5N1)の確定症例(図1)が報告されています。

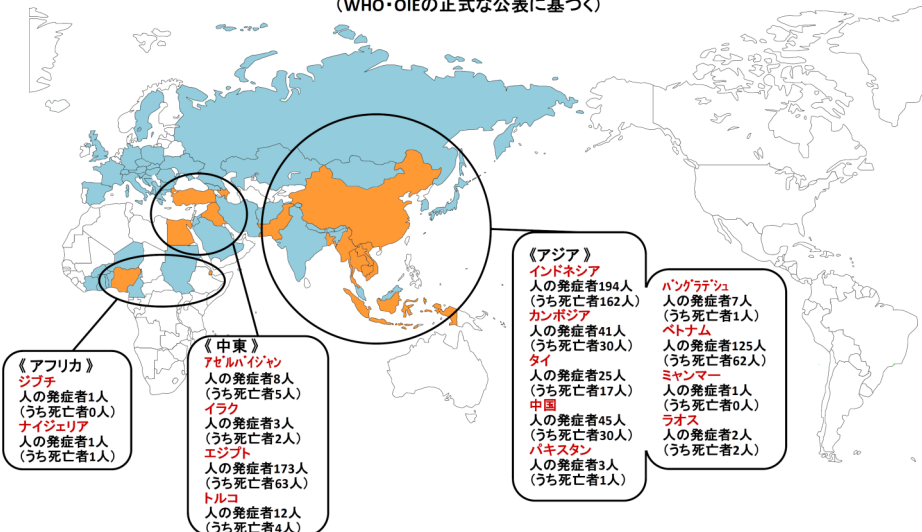
ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染した場合の症状は、原因となったウイルス株により違いがみられますが、一般的には高熱、咳などの呼吸器症状の他、全身倦怠感などの全身症状を伴います。また、重症の肺炎や急性呼吸窮迫症候群などにより、死に至る場合があります。



この号の内容

鳥インフルエンザとは？	1
鳥インフルエンザと 新型インフルエンザ	2
インフルエンザウイルス	3
鳥インフルエンザA(H7N9) が指定感染症に	

(WHO・OIEの正式な公表に基づく)



注) 上記の他、人への感染事例として、1997年香港(H5N1 18名感染、6人死亡)、1999年香港(H5N2 2名感染、死亡なし)、2003年香港(H5N1 2名感染、1人死亡)、2003年ラダグ(H7N7 85名感染、1人死亡)、2004年カナダ(H7N3 2名感染、死亡なし)、2007年英国(H7N2 4名感染、死亡なし)、2012年メキシコ(H7N3 2名感染、死亡なし)等がある。

■ : 家さん等でのH5N1が認められた国
■ : 人でのH5N1発症が認められた国

参考: WHOの確認している発症者数は計641人(うち死亡380人)

2013年10月7日現在
厚生労働省健康局結核感染症課作成

鳥インフルエンザウイルスにヒトが感染した場合の致死率は？

これまでの例では、2003年以降の鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)の感染者の致死率は、約60%で、本年中国で発生が相次いだA(H7N9)の致死率は約30%といずれも非常に高い値となっています。

図1: 鳥インフルエンザ(H5N1)発生国及び人での確定症例(2003年11月以降)(厚生労働省ホームページより)

鳥インフルエンザと新型インフルエンザ

「鳥インフルエンザ」＝「新型インフルエンザ」ではありません。

先に述べましたように、鳥インフルエンザは一般的に鳥類が感染する病気で、まれにヒトが感染することがありますが、そのヒトから別のヒトに感染することは、通常ありません。しかし、ウイルスが遺伝子変異を起こし、ヒトからヒトへ感染する能力を獲得し、持続的にヒト-ヒト感染を引き起こすようになった場合は、新型インフルエンザと呼ばれます。

新型インフルエンザウイルスになる仕組み

鳥インフルエンザウイルスが新型インフルエンザウイルスになる仕組みは2つあるといわれています。

1つめは、鳥インフルエンザウイルスがヒトや鳥類の体内で変異し、ヒト-ヒト感染を引き起こす新型インフルエンザウイルスになる場合で、2つめは、ヒトや豚にヒトインフルエンザウイルスと鳥インフルエンザウイルスが同時感染し、それが混ざり合っ

新型インフルエンザA(H1N1)

新型インフルエンザは季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なるインフルエンザであって、一般的にヒトが免疫を獲得していないことから、急激なまん延により生命、健康に重大な影響を与える恐れがあると認められるものをいいます。

2009年(平成21年)にメキシコや米国等において確認され、我が国においても感染患者が認められた、豚由来といわれる新しいインフルエンザA(H1N1)について、同年4月28日、感染症法に規定する新型インフルエンザと位置付けられました。

この新型インフルエンザA(H1N1)は世界的大流行(パンデミック)を引き起こし、我が国においても、2009年8月～2010年3月までに医療機関を受診した外来患者数は約2,100万人と推定されています。

なお、その後(2011年3月)、このインフルエンザは新型インフルエンザの指定からはずれ、通常の季節性インフルエンザ「インフルエンザ(H1N1)2009」として取り扱われることになりました。

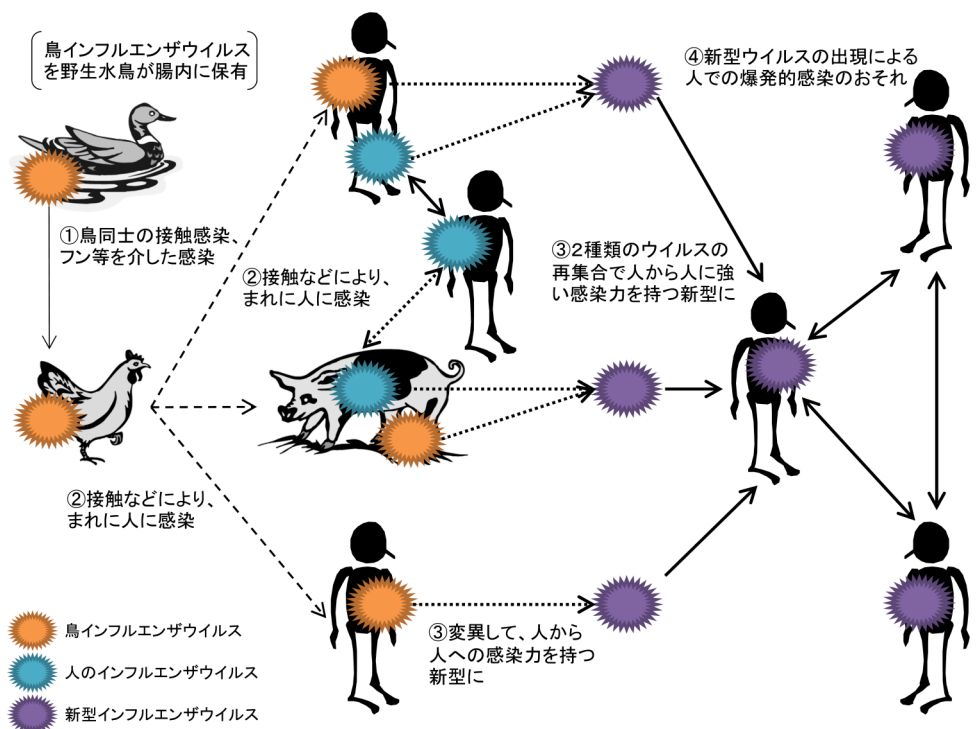


図2：鳥インフルエンザウイルスが新型インフルエンザウイルスに変異する仕組み (厚生労働省ホームページ 鳥インフルエンザに関するQ&A より)

インフルエンザウイルス

インフルエンザウイルスは大きくA型、B型、C型の3つに分けられます。このうち、流行の原因となるのは、A型とB型です。

A型インフルエンザウイルスは、ウイルス表面に突き出した糖タンパク質〔ヘマグルチニン(HA)とノイラミニダーゼ(NA)〕の種類により、また、さらにHAの亜型16種類、NAの亜型9種類により分類されます。このHAとNAの組み合わせと亜型の番号により、H1N1、H2N2というようにウイルスの型が決定されます。また、遺伝子はRNAで8分節に分かれています(図3)。

A型またはB型インフルエンザウイルス感染の臨床症状は、感染を受けてから

1～3日ほどの潜伏期間ののち、突然の発熱(通常38℃以上)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛などが発現し、咳、鼻水などがこれに続き、約1週間で軽快するのが典型的なインフルエンザのパターンで、「かぜ」に比べて全身症状が強く出ます。特に高齢者や慢性疾患を持つ患者、免疫機能の低下した患者は、重症化したり呼吸器に二次的な細菌感染を受けるなど、入院や死亡の危険が増加しやすくなります。

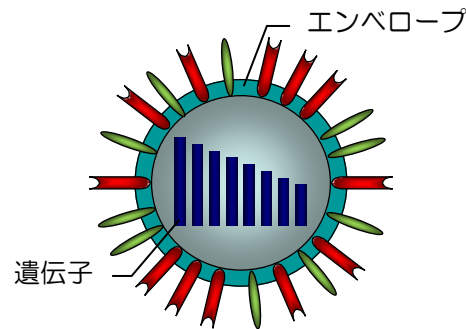
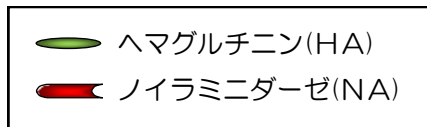


図3：A型インフルエンザウイルスの構造



鳥インフルエンザA(H7N9)が指定感染症に

本年(2013年)3月以降、主に中国において感染者が多発した鳥インフルエンザA(H7N9)について、現時点ではヒトからヒトへの持続的な感染は確認されていませんが、ウイルスがヒトへの適応性を高めており、パンデミックを起こす可能性が否定できないと報告されています。

こうした状況をふまえ、国内での患者発生に備え、医療や検疫体制の整備を行い、ヒトからヒトへ持続的に感染することに

なった場合の迅速な情報把握及び対応を可能とするため、鳥インフルエンザA(H7N9)を感染症法における指定感染症とする政令等が、本年4月26日に公布されました。

これにより、感染の疑いのある者に健康診断を受けさせたり、感染者に対し、就業制限や入院勧告・措置等の対応をとることができるようになりました。

鶏肉、鶏卵を

食べることによる感染はあるの？

これまで、鶏肉・鶏卵を食べることによりヒトに感染したという事例報告はありません。

なお、WHOは、中心部まで70℃に達するように加熱された肉類は、食べても安全としています。



アース環境

総合環境衛生管理で
社会に貢献します

無断複写・複製はご遠慮下さい。

本件に関してのお問合せは、
03-3253-0640

ホームページもご覧ください
<http://www.earth-kankyo.co.jp/>